

全学モジュール科目案内

テーマ名	14-A6 環境問題を考える		
テーマ責任者	中西 こずえ	責任部局	環境科学部
対象学部	多文化社会学部・教育学部・経済学部・薬学部・水産学部		
趣旨	環境問題は世界的にも地域的にも大きな深刻な問題であり、この問題にいかに対処するかが問われています。解決策を探るためには、まず現状と根本的な原因を理解し、さらに歴史的な視点、人間生活のかかわり方、市民・住民運動の経過、地域の特殊性などについての学習が不可欠です。モジュール I では、全員に環境問題の現状と原因についての知識の共有を促し、モジュール II では各自の関心に応じて、様々な視点からの取り組みが理解できるように組み立てました。		
到達目標	<p>生物多様性の現状を理解し、農林水産業の目指すべき方向を予測し議論できる: 科目 Ia「生物多様性を考える」 斜面市街地や里山などについて学び、都市環境の今と昔を理解する: 科目 Ib「都市環境を考える」 地球温暖化の根本原因と仕組みを理解し、国際社会が進む進路を予測し説明できる: 科目 Ic「地球温暖化を考える」 人々の生活のあり方を学び、環境と人間の共存と発展のあり方を考えることができる: 科目 IIa「環境構想論(未定)」 環境問題に対する社会運動の事例を学び、様々な視点や立場、役割を議論できる: 科目 IIb「環境と社会運動」 過去の環境問題と影響について学び、環境保護のあり方を議論できる: 科目 IIc「環境問題の歴史から学ぶ」 多様な地域環境の可能性を理解し、循環型社会の形成など持続可能な地域づくりについて意見を持てる: 科目 IId「地域の環境を考える」 分子生物学的な観点から海洋生物の多様性について説明できる: 科目 IIe「海洋生物の遺伝子多様性」</p>		
学生の皆さんへのメッセージ	環境問題について関心を持ち、学び、考え、行動することは、環境科学部以外の学生にとっても今や避けては通れない大切な事柄の一つになっています。環境を研究テーマにする教官の総力を結集して、環境について種々の方向から皆さんと一緒に学び、考え、議論したいと考えています。		

	科目名	担当者名	概要	キーワード
モジュール I	生物多様性を考える	中西 こずえ 吉田 謙太郎 山口 典之	地球上に生息・生育する種々の生物がお互いに競争・共存し、現在の複雑で多様な生態系が危ういバランスの上に成り立っていることを複数の事例を元に理解する。その上で、農業や水産の現状と目指すべき方向を学び、環境問題と食糧確保との関連を様々な視点から議論できる知識と素養を養う。	生物多様性、生態系、生物間相互作用、食糧問題
	都市環境を考える	杉山 和一 渡辺 貴史	近代日本のインキュベーターだった長崎の都市環境を皆さんと一緒に考えたい。長崎の都市環境といえば、直ちに斜面市街地における特徴的な景観や、海の見える光景が目には浮かぶ。そこでこれに交通面等から接近する。ただ本講座では、広域都市圏を対象とし、都市の持続可能性を求めて、里山や過疎化が進行している郊外地域の生活環境にも目を向ける。のみならず、明治から昭和戦前の華やかなりし長崎の歴史的景観にも思いを馳せ、長崎に紛うことなく、「近代」は来ていたことを確かめる。	都市環境、斜面市街地、里山、過疎地域、歴史的景観
	地球温暖化を考える	高尾 雄二 河本 和明 富塚 明 和達 容子	温室効果のしくみを学び、それに伴う気象および気候の変化を学ぶ。また関連する国際条約の成立過程や内容について学び、国際間の立場の違いや国際社会への影響について考える。さらに、化石燃料の燃焼に伴い発生する大気汚染やエネルギー問題の現状を学ぶ。これらによって、地球温暖化の防止が技術的かつ国際的に複雑な問題であることを理解し、改善のための手法を提案し、予想される困難を考える。	温室効果、地球温暖化、エネルギー収支、化石燃料、各国の立場
モジュール II	環境構想論(未定)	未定	過去からの人々の環境と生活のあり方をさまざまな事例をもとに検討し、理解する。そこから今後の環境共存の指針を得るとともに、社会と環境の共生、自然環境と人間の共存、発展の方向やあり方を学び、環境について議論できる知識と素養を得る。	環境と社会の共生、自然環境と人間の共存

環境と社会運動	戸田 清 保坂 稔	ドイツ緑の党、日本の脱原発や水俣病を例に、公害環境問題の市民運動、住民運動の経過について理解する。政府、企業、専門家との対立や協力の相互作用のなかでの市民運動、住民運動の役割を様々な視点から議論できる知識と素養を養う。	公害環境問題、市民運動、住民運動
環境問題の歴史から学ぶ	菅原 潤 宮西 隆幸	一般に環境問題は 80 年代以降世界的に知られるようになったと言われているが、それ以前にも大規模な自然破壊や、これともなう生体の健康に与える深刻な影響が報告されている。この講義ではそれらの事例を踏まえながら、ローカルな視点で環境保護を訴える立場を模索する。	環境問題、自然破壊、生体への影響、自然保護、公害
地域の環境を考える	中村 修 深見 聡	多様な地域の環境には、様々な可能性があります。過度な経済効率性の追求や、いわゆる都市部からの視点からではなく、地域がもつ固有性に注目した持続可能な地域社会のあり方について考えます。	地域の視点、環境教育、循環型社会、エコツーリズム
海洋生物の遺伝子多様性	和田 実 井上 徹志 山口 健一 管 向志郎	海洋の真核および原核微生物の遺伝子レベルの多様性を紹介するとともに、海洋における生物間相互作用、物質循環機能、生理活性物質の生産や物質変換、水産発酵食品に関わる微生物などのトピックスを学ぶ。また、遺伝子解析の基礎的な手法とその原理について学び、生命現象の遺伝子レベルでの理解を深める。	海洋生物、共生、遺伝子解析、発酵食品

全学モジュールの目標 キーワード、および授業 編成の視点との対応	技能・表現						知識・理解			態度・志向性				※授業編成の視点			
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	A	B	C	D
	自主的探究	批判的思考	自己表現	行動力	日本語コミュニケーション力	英語コミュニケーション力	基盤的知識	環境の意義	多様性の意義	社会貢献意欲	学問を尊敬する態度	自己成長志向	相互啓発志向	哲学的な切り口	歴史・略史を扱う	現代的な話題を取り入れる	アクティブラーニングの活用
生物多様性を考える	○	○	○		○	○	○	◎	◎	○						◎	○
都市環境を考える	○	○	○		○		○	◎	◎	○	○	○	○		◎	◎	○
地球温暖化を考える	○	○	○		○	○	○	◎	○			○	◎			◎	◎
環境構想論(未定)	○	○	○		○		○	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	○
環境と社会運動		◎	○		○		○	◎		◎	○	○	○	◎	○	○	○
環境問題の歴史から学ぶ		◎	○		○		○	◎		○	◎		○	◎	◎		○
地域の環境を考える	○	○	○	○	○		○	◎		◎	○	○	○	◎		◎	○
海洋生物の遺伝子多様性	○	○		○	○		○	◎	◎	○			○			◎	○
◎(特に重要)の数	0	2	0	0	0	0	0	8	4	2	1	0	1	4	3	5	1
○(重視)の数	6	6	7	2	8	2	8	0	1	5	4	5	6	0	1	2	7

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目